

令和6年度職員団体との交渉結果（第1回人事課長交渉（現業））

1. 交渉団体

滋賀県職員組合、滋賀県職員組合現業職員協議会

2. 当局側出席者

人事課長、他人事課員

3. 交渉日および場所

令和6年11月11日（月）13:30～14:45 本館3-B会議室

4. 内容

基本賃金、諸手当関係、業務体制の確立、職場環境の改善 など

5. 交渉状況

職員団体	県
<p>現行の給与水準の維持は強い要求であり、技能労務職給料表の国行政職（二）表水準への見直しについては、双方の認識に大きな隔たりがある。また、給与制度のアップデートによって不利な取扱いとならないのか。</p>	<p>多くの都道府県で見直しが実施され、または見直しに向けた取組がされている状況である。本県においても見直すべき時期に来ていると考えているが、双方の認識に大きな開きがあることから時間をかけてお互いに研究したい。また、給与制度のアップデートについては、国の行政職（二）表の号俸カットに伴う技術的な見直しであり、現行制度から不利な取扱いとならないよう見直すことについて、総務部長と協議したい。</p>
<p>再任用職員の給与について、同じ職場で同じ仕事をしているのに給与が下がっており、同一労働・同一賃金の点で矛盾が生じている。国が再任用職員の給与制度を変えないと何も変わらないのか。何か検討してほしい。</p>	<p>再任用職員の給与は国との均衡を踏まえた給与制度としている。民間企業の給与水準を踏まえている人事委員会勧告を基本に検討することになるので、ご理解いただきたい。</p>
<p>初任給算定時における民間企業経験の換算に対する改善について、技能労務職員も同じ取扱いと考えてよいのか。</p>	<p>総務部長から回答したとおり、民間企業の正社員経験が職務に直接役立つ経験として評価できるものであれば100/100で換算できるように検討しているところ。</p>
<p>技能労務職員が危険物取扱者となって責任を負っているなど、採用時の条件にない資格で業務を行っており、不満がある。選任過程も曖昧で、位置付けも軽んじられている。選任基準等を人事課で決める必要があるのではないのか。</p>	<p>畜産技術振興センターでは、従来から技能労務職員や行政職員に危険物取扱者として職務にあたってもらっているところであり、危険物管理業務についての重要性は認識していることから、危険物取扱者をセンター内で複数名いるようにしたい、と所管所属から聞いている。それぞれの所属で資格者選任を行うのであって、人事課で決めるものではない。</p>
<p>夏期ハウス内薬剤散布作業について、過酷な状況で厳しい作業を行っている職員に特殊勤務手当の支給を求める。全国的にも少数だが手当を支給している団体もあり、特殊性も認められることから、前に進めてほしい。</p>	<p>衣服での調整ができない作業であると認識しているが、作業方法、作業環境の面で可能な限りの配慮がされていると聞いている。また、同様の手当を措置している団体は、全国でも多くない状況であり、近年新設している団体がないことから手当の新設は困難である。今後もその時々の方情に応じ、必要な見直しを行う考え方に変わりはない。</p>

<p>ダム湖での作業は、船が小さく非常に危険であることから特殊勤務手当の額を増額してほしい。また、時間を作って現場を見に来てほしい。</p>	<p>令和5年5月に人事課長が現場の実態を確認し、その話を聞いているところ。危険な作業であることを改めて認識したが、手当を含めた給与は国や他の都道府県との均衡も求められることから、直ちに改善することは困難である。なお、特殊勤務手当全般については、今後もその時々的情勢に応じ、必要な見直しを行っていく考え方に変わりはない。</p>
<p>畜産技術振興センターでは、会計年度任用職員が高齢であり、危険な現場作業をさせるのは所属長も含め危険であると認識している。正規職員で任用される条件であれば若年層の確保もでき、経験を積んで熟練していく。会計年度任用職員に置き換えた分を一人でも正規職員に戻してほしい。</p>	<p>技能労務職員の採用については、これまでから都度、所管部局の話を聞いて採用を行ってきたところであり、引き続き所管部局の話を聞いて採用を考えていきたい。正規職員の採用については、所管部局の考えも聞きながら、業務量の推移や将来的な見通し、業務の代替性、社会経済情勢などを総合的に勘案しながら検討していく。</p>
<p>再任用職員の終期が明確だったため、早期に正規職員の募集をしてもらったが、それ以外は募集が遅くなっている。以前と違って人材不足もあり応募者が少ないと感じている。応募者を確保するためにも、より早期の選考実施を検討してほしい。</p>	<p>採用の時期について、職員の退職の動向を踏まえ、所管部局の意見を聞いて検討したい。不安のないように対応したい。</p>
<p>危険物取扱主任等の資格について、若手職員にも資格取得を奨励することを求める。</p>	<p>畜産技術振興センターでは、若年層に取得してもらおうことを意識している、と所管所属から聞いている。</p>
<p>被服の貸与について、空調服は晴れた日は暑くて意味がない。水冷服というものがあるが、所属に相談したところ却下されてしまった。水冷服は熱中症予防にも効果があり、被服の貸与として予算が使えるよう通知等をしてほしい。</p>	<p>被服については、被服貸与規程に基づき貸与しているところであるが、水冷服が被服として整理できるのか、まずは研究したい。</p>